

# もろつか 防災の集い

令和5年2月14日に開催した防災の集いでは「災害にも強い地域づくりに」をテーマとしたグループワークを実施しました。積極的な意見交換が行われ、村民の防災に関する意識が高まっていることを改めて感じる研修となりました。  
※裏表紙、2・3頁も併せてご覧ください。

日頃の備えと  
早めの避難



防災は「1に体力 2に共助  
3.4がなくて  
5に備蓄



**防災の集い 2023**  
主催／諸塚村・社会福祉法人諸塚村社会福祉協議会 共催／諸塚村 ボランティア連絡協議会



早目の備え・命を守る 2班



備えは日頃から!! 17歳-70歳

日頃から災害を意識しに備えと  
助け合い 人とのつながりが自分を守る



つよくしなやかな諸塚  
防災の絆  
ランキョウ



体力(筋力)をつけておくことも備え



災害は忘れた頃にやってくる  
備えあれば憂いなし 4班



備える つながる 守る 命 5班



地域の和が  
防災の輪  
3班

グループワークをとおして得られた  
今後の心得や決意表明を格言・標語  
等で表しました。



## 開会行事あいさつ

諸塚村長  
諸塚村社会福祉協議会会長  
西川 健



もろっか防災の集いは「令和4年台風14号災害から学ぶ、自助・共助・公助のチカラ」をテーマに村及び社会福祉協議会の主催で開催しました。

今回の学びを一人ひとりが実践につなげ、地域の防災力を高めていきましょう。

## 体験発表【台風14号から学んだこと・感じたこと】

諸塚公民館長・諸塚地区民生委員児童委員  
右田 良一様

被害に遭われた当時の状況や公民館長としての対応、避難所生活のこと等、お話をいただきました。



## 報告【諸塚村の防災対策について】

諸塚村 総務課  
主査 日吉 啓一郎

被害概要の把握等、台風時の役場の対応や消防団との連携等について報告がありました。



## 報告【諸塚村ボランティアセンターの災害に関する取り組みについて】

諸塚村社会福祉協議会  
社会福祉士 三林 永里香

災害ボランティアの活動内容や災害ボランティアセンターの役割、被害に遭われた方に対する相談支援活動の実施等について報告がありました。



## グループワーク

### 【災害にも強い地域づくりのために】

これまで経験した災害で感じたこと（何に困ったか、困りごとにどう対応したのか）、平時から取り組むべき防災・減災対策（自分自身で、家族で、地域でできる日常の備えとは？）について意見交換を行いました。

## パネル展示

### 【もろっこ防災 school 報告】





もろつか防災の集い  
参加者アンケートの一部を  
ご紹介します。

この場のみで  
済ませず、地域や  
日常生活に広げる  
活動が今後重要。

災害のリアルな  
報告をしてもらえ、  
自分の知らない現状  
を把握できた。

諸塚の（行動・経験）  
良さを改めて感じる  
研修だったのでは  
ないかと思います。

災害はいつどこで発生  
するか分からないので  
常日頃からの備えが必  
要と感じ、また共助の  
大切さを痛感した。

実際に体験された方の  
話が聞けてよかった。  
下を向かず、前向きに  
進まれる姿に  
感動しました。

諸塚公民館の  
大変生々しい報告に  
災害の怖さを改めて  
痛感しました。

公民館単位等で  
開催されると更に今後  
の減災につながると思  
います。大変良い機会  
になりました。

今から防災について  
考えたいと思う。

それぞれの体験を  
聞け、日常生活で  
も備えにつながる  
ものの発見につな  
がった。

特に「備え」に  
ついて準備しようと  
思う物もあったので  
よかった。

普段交流がない方々と  
たくさんお話ができました。  
人との交流も減災につながり  
ます。いい機会をいただき、  
ありがとうございました。

防災の意識を高めるた  
めには今回のような  
研修会をすることは  
必要だと思います。

ボランティアの  
ありがたさを感じた。  
楽しい半日でした。

改めてみんなが生命を  
守ることに思いを  
寄せることができた。

積極的に  
防災の  
話し合いが  
できた。

共感できるもの、自分たちが  
気づけなかったこと、納得で  
きるもの、新たに知ることにな  
ったもの等、年代超えて  
話を聞くことができて  
良かったです。

台風14号の記憶が  
はっきりと残っているときの  
グループワークだったので、  
熱を感じる意見交換が  
できました。





# 令和5年度事業計画について



社会福祉法人諸塚村社会福祉協議会では、地域住民、関係機関と連携し、地域の社会資源を有効に活用しながら、基本理念である「**地域の方々とともに、すべての人々がいつまでも安心して暮らし続けることのできるむらづくり**」の実現に向けて、以下4つの重点目標に取り組んで参ります。

## 人づくり

福祉を学び、豊かな心を育む

### ○福祉教育・広報の充実

- ・福祉講座（体験）事業
- ・広報誌「We Loveもろつか」発行事業
- ・ホームページ更新事業
- ・共同募金、歳末たすけあい運動
- ・日赤事業



### ○地域人材の育成

- ・ボランティア講座（体験）事業
- ・シルバー人材センター事業
- ・健康づくりサポーター養成事業
- ・高齢者の社会参加活動の推進

## 地域づくり

支え合い、たすけあいの関係を築く

### ○小地域福祉活動の強化

- ・小地域見守り  
ネットワークシステムの構築
- ・住民主体の地域福祉活動への支援
- ・福祉協力員事業
- ・要援護者台帳整備事業
- ・生活支援体制整備事業



### ○ふれあい活動の推進

- ・ふれあいいきいきサロン事業
- ・あしたにつなげるプロジェクト事業
- ・福祉運動会事業
- ・健康づくり推進事業

## 環境づくり

サービスを活かし、自立して暮らす

### ○総合相談体制の整備

- ・総合相談、情報提供サービス
- ・居宅介護支援事業
- ・日常生活自立支援事業
- ・福祉なんでも相談
- ・法律相談、資金貸付事業
- ・法人後見権利擁護センター設置事業



### ○福祉サービスの推進

- ・地域包括支援センター事業  
（介護予防、地域生活支援事業、  
介護保険サービス）
- ・もろつかせせらぎの里事業  
（介護保険、障がい福祉サービス）
- ・児童預かり事業

## 体制づくり

連携・協働して地域を興す

### ○行政、関係機関との連携

- ・行政との連絡会の充実
- ・民生委員児童委員協議会、福祉団体  
（当事者組織）との連携強化
- ・医療、福祉、保健ネットワークの構築
- ・多様な業種、職種との共同機会の創出

### ○信頼される組織づくり

- ・地域福祉計画、地域福祉活動計画の推進
- ・職員のスキル向上のための  
取り組み強化
- ・公益性、非営利性、情報公開の徹底





# 令和5年度会計収支予算について



〔法人合計〕

(単位：千円)

収 入 の 部			支 出 の 部		
科目	予算額	説明	科目	予算額	説明
会 費 収 入	385	一般・特別会費	人 件 費 支 出	230,910	役職員給与・賃金
寄 付 金 収 入	600	香典返し、一般寄付金等	事 業 費 支 出	55,539	サービス事業費
経常経費補助金収入	26,116	県・村補助金・助成金	事 務 費 支 出	17,830	事務所費
受 託 金 収 入	79,931	県・村受託金	貸 付 事 業 支 出	440	資金貸付支出
貸 付 事 業 収 入	440	貸付金償還金収入	助 成 金 支 出	1,021	団体等活動助成金
事 業 収 入	516	利用料等	固 定 資 産 取 得 支 出	1,000	
介 護 保 険 収 入	200,220	介護報酬	積 立 資 産 支 出	1,578	
障害福祉サービス等事業収入	130	自立支援給付費	事業区分間繰入金支出	1,328	
利 用 料 収 入	485	受託サービス利用料	サービス区分間繰入金支出	20,063	
受取利息配当金収入	10	預金利息	その他の活動による支出	1,787	
そ の 他 の 収 入	291		予 備 費	60	
施設整備等補助金収入	1,000				
事業区分間繰入金収入	1,328				
サービス区分間繰入金収入	20,063				
前 期 末 支 払 資 金	41				
合 計	331,556		合 計	331,556	

〔事業・拠点・サービス区分別〕

## ●社会福祉事業区分

計295,016千円

法人本部拠点区分	
法人運営事業	25,799千円
退職共済積立事業	1,858千円
地域福祉活動推進事業	9,049千円
共同募金配分金事業	932千円
福祉サービス利用支援事業	544千円
生活福祉資金事務費事業	941千円
たすけあい資金貸付事業	440千円
拠点・サービス区分計	39,563千円

もろつかせせらぎの里拠点区分	
介護老人福祉施設事業	206,185千円
通所介護事業	31,436千円
訪問介護事業	8,085千円
居宅介護支援事業	5,420千円
配食サービス事業	3,395千円
障がい者福祉サービス事業	131千円
高齢者生活福祉センター事業	801千円
拠点・サービス区分計	255,453千円

## ●収益事業区分

計36,540千円

地域包括支援センター拠点区分	
地域包括支援センター事業	36,540千円
拠点・サービス区分計	36,540千円



●法人合計 331,556千円

この会計予算は、令和5年3月14日第3回理事会並びに3月28日第3回評議員会において承認されました。



# 赤い羽根共同募金にご協力いただき ありがとうございました。

令和4年10月から令和5年1月にかけて実施しました募金活動では、皆様より温かいご支援を賜り誠にありがとうございました。お寄せいただいた募金は令和5年度の高齢者・障がい者・児童福祉活動等に活用させていただきます。

令和4年度募金総合額 **810,693円** (令和4年度目標額:750,000円)

## 法人募金寄付者(順不同)

興洋開発(株)	様
水本建設(株)	様
吉原建設(株)	様
(株)太伯建設	様
(有)綾建設	様
(有)大東建設	様
(有)諸塚交通	様
(有)諸塚共同ナマコン	様
日向農協諸塚支店	様
耳川広域森林組合諸塚支所	様

## 一般募金

戸別募金	323,900円
街頭募金	51,713円
法人募金	100,000円
学校募金	20,472円
職域募金	127,839円
個人募金	16,020円
その他の募金	20,749円
歳末たすけあい募金	150,000円

こころの  
健康コラム

## アンガーマネジメント その3

今回のコラムは「上手な怒り方」についてご紹介します。

### 怒る基準をもつ

必要な時に上手に怒るために、日頃から怒る基準を意識しておく、機嫌に左右されなくなります。日によって、同じ事柄が起きても怒る時と怒らない時があると、相手は混乱し、信頼関係にも影響する可能性があります。「昨日言っていたことと違う」と言われないう怒る基準を明確に示し、一貫した対応がとれることが望ましいです。

### 自分のリクエストを明確にする

怒りを感じた時、相手に対して「こうしてほしかった」という気持ちに気づいたら、いつ・何を・どうしてほしいのかを明確にし、それがはっきり分かるように伝えましょう。

### 穏やかな表現を使う

穏やかな口調を心がけることで、自分が何に怒っているのか、何を変えてほしいのかが相手に伝わりやすくなります。自分の気持ちを伝える際、どういう言葉、表現を用いるかも重要です。上記の①～③は誤解を招きやすい表現の例として挙げられるものです。これらは相手を不快にさせたり、傷つけたりする場合もあるので、注意が必要です。それぞれの対応例も示していますので、どうぞ参考になさってください。

- ①「前にも言ったけど」「いつも言うけど」…過去を持ち出す  
→<対応例>今回の出来事に焦点をあてて話をする
- ②「なんでできない」「なぜそうした」…相手を責める  
→<対応例>「どうすればできる？」に言い換える
- ③「いつも」「必ず」「絶対」…断定的な言葉  
→<対応例>「同じミスが2回続いているから、どうしたら同じミスがなくなるか一緒に考えよう」などの表現に変える



# 令和5年度 総合相談事業

諸塚村社会福祉協議会本部では様々な相談事業を実施しています！

## 福祉なんでも相談

社会福祉協議会職員(社会福祉士・臨床心理士)が日常生活上の様々な相談に応じます。電話・FAXによる相談も可能です。

生活のこと

困りごと

心配ごと

### ○開設日時

毎週月曜日～金曜日(祝日を除く)

午前8時30分～午後5時

### ○場所

諸塚村中央公民館



## 障がい者就労・生活相談

ひゅうが障がい者就業・生活支援センターの職員による障がいのある方の就労と生活に関する出張相談を実施しています。

### ○開設日時

毎月第1週指定日

午前9時～午前12時

### ○場所

諸塚村中央公民館

- ☐ 仕事になかなか慣れない
- ☐ 福祉サービスを利用したい
- ☐ 職場のことで悩んでいる



## 無料法律相談

相続・不動産・離婚・債権・労働関係・財産などの法律問題でお困りの方を対象に、弁護士による法律相談を年3回開催します。事前予約が必要となりますので一週間前までに社会福祉協議会へお申し込みください。

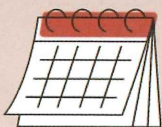
### ○開設日時

令和5年5月24日(水)

午後1時30分～4時30分

### ○場所

諸塚村中央公民館



## 友愛コール

1人暮らしの高齢者や高齢者世帯等の方が、地域で安心して暮らすことができるよう、民生委員児童委員、主任児童委員が定期的に電話で安否確認や情報収集を行います。



### ○対象となる方

要援護者台帳登録者のうち、同意が得られている方

### ○活動内容

月に1回、社会福祉協議会の電話機からお電話をおかけし、健康状態等の確認を行います。

### ○こんな役割を担います

- ・地域住民による身近な相談窓口としての存在
- ・気軽な話し相手、相談相手
- ・関係機関とのつなぎ役(相談があった場合)

## メンタルヘルス相談

社会福祉協議会の臨床心理士がこころの悩みや不安等に関する相談(電話可)に応じます。

### ○開設日時

毎月第1週指定日

午前9時～午前12時

### ○場所

諸塚村中央公民館

気持ちが  
落ち込む

家族のことで  
悩んでいる

まわりとうまく  
いかない

※上記の開設日以外(月曜日から金曜日まで)も、事前予約による相談に応じることも可能です。お気軽にお問合せください。

お問合せ先

諸塚村社会福祉協議会

TEL 65-0375

FAX 65-0392

秘密は厳守いたします。